

科目名	選択ダンススキル4							年度	2026
英語科目名	Selective Dance Skills 4							学期	前期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 1年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	和田 奈未子		教員の実務経験	有	実務経験の職種		プロダンサー		
【科目の目的】 この科目ではストレッチ、体幹トレーニング、クロスフロアを毎回行ったうえで、シアタージャズを中心に、テーマパークダンスやチアダンスまで振付を通して表現力を磨きます。									
【科目の概要】 この科目ではJAZZの基礎的な動きを習得します。シアタージャズを中心に、テーマパークダンスやチアダンス等、毎レッスンテーマを持った振付により表現力を磨く事を目的とします。クロスフロアの練習も行い、オーディションを想定したレッスンを行うことで個人の表現力を磨くレッスン内容になります。ステージや舞台で求められている表現方法を学ぶとともに、オーディション合格も目標とした実践的なレッスンと指導を行い									
【到達目標】 A:ダンスの基礎スキルを身につける B:パフォーマーとしての表現力を身につける（表情管理） C:MCとしてしっかり話せるようになる									
【授業の注意点】 前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	基本のステップやターンを覚えて、個性を出した表現ができるようになる。	基本のステップやターンを覚えて、自主的にできるようになる。	基本のステップやターンを覚えて、ルーティンの中で連続でできるようになる。	基本のステップやターンを覚えているが、連続できない。	基本のステップやターンを覚えきれていない。				
到達目標 B	見ている人を元気にする笑顔とシャッターチャンスのためのキレと止めができるようになる。	見ている人を元気にするような笑顔で踊ることができるようになる。	常に笑顔で踊ることができるようになる	表情が硬く観客を意識できていない。	前を向いて踊ることができない。				
到達目標 C	観客を意識しながら表情や声色をコントロールし、個性を表現したトークができるようになる。	表情や声色を意識したトークができるようになる。	大きな声で明るく元気にトークができるようになる。	大きな声でトークができるようになる。	大きな声で前を向いてトークができない。				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 適時レジュメ・資料を配布する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題 30% 試験と課題を総合的に評価する レポート 40% 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表 20% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		選択ダンススキル4			年度	2026
英語表記		Selective Dance Skills 4			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	授業全体の流れの説明の実施、シアタージャズ意識した振り付け	シアター、テーマパーク、チアのダンスを理解する	1 ①発声	基本的な方法を学ぶ	2	
			2 ②顔のトレーニング	基本的な方法を学ぶ		
			3 ③クロスフロア	基本的な方法を学ぶ		
2	ストレッチ、姿勢作りのトレーニング	基礎力の向上	1 毎回行う基礎	①②③を行う	2	
			2 ④ウォーキング	基本的な方法を学ぶ		
			3 ⑤コンビネーション	基本的な方法を学ぶ		
3	ストレッチ、基本姿勢からの正しいウォーキング	基礎力の向上	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 ステップ	JAZZのステップを覚える		
			3 コンビネーション	連続でできるようにする		
4	ストレッチ、クロスフロアなどで基本的なステップを使い音と体をなじませる	基礎力の向上	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 ステップ	クロスフロアの中でできるようにする		
			3 コンビネーション	連続でできるようにする		
5	ストレッチ、クロスフロア、簡単なダンスのステップ	基礎力の向上	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 クロスフロア	ジャンプをできるようにする		
			3 コンビネーション	連続でできるようにする		
6	ストレッチ、クロスフロア、反復練習	オーディション対策と気づき、反省からの再構築	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 クロスフロア	ステップ、ジャンプをできるようにする		
			3 コンビネーション	連続でできるようにする		
7	ストレッチ、クロスフロア、音楽に合わせた振付を覚える	オーディション対策	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 振付を覚える	曲に合わせて踊れるようにする		
			3 表情管理	表情まで意識して踊る		
8	振付けにフォーメーションを作り舞台上での感覚を養う	オーディション対策	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 振付の確認	曲に合わせて踊れるようにする		
			3 表情管理	表情まで意識して踊る		
9	フォーメーションの発表	オーディション対策	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 振付の確認	曲に合わせて踊れるようにする		
			3 発表と感想	自分以外の人にフィードバックできるようにする		
10	ペアダンスを学ぶ	実践対策	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 振付を覚える	カウントで踊れるようにする		
			3 テクニックを生かす	基本テクニックを身につける		
11	テーマに沿った振付を通し表現力を磨く(JAZZ基本)	実践対策	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 振付を覚える	曲に合わせて踊れるようにする		
			3 テクニックを生かす	基本テクニックを身につける		
12	テーマに沿った振付を通し表現力を磨く(シアターJAZZ、コンビネーション)	実践対策	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 振付の確認	表情まで意識して踊る		
			3 表情管理	表情まで意識して踊る		
13	テーマに沿った振付を通し表現力を磨く(JAZZ応用・チア)	実践対策	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 振付の確認	曲に合わせて踊れるようにする		
			3 表情管理	表情まで意識して踊る		
14	テーマに沿った振付を通し表現力を磨く(JAZZ応用・舞台ミュージカル)	実践対策	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 振付の確認	曲に合わせて踊れるようにする		
			3 表情管理	表情まで意識して踊る		
15	授業のまとめ、舞台を想定したフォーメーション	実践対策	1 毎回行う基礎	①②③④⑤を行う	2	
			2 振付の確認	曲に合わせて踊れるようにする		
			3 発表と感想	自分以外の人にフィードバックできるようにする		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等